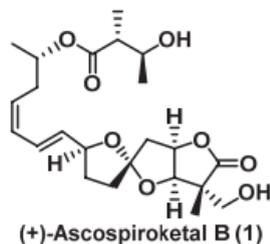


26S-am10

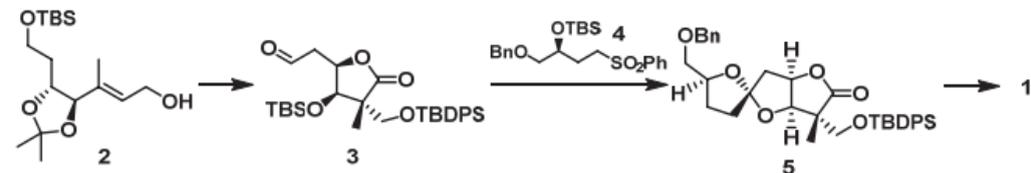
(+)-Ascospiroketal B の合成研究

○原 喜偉¹, 太田 浩一朗¹, 釜池 和大¹, 宮岡 宏明¹ (¹東京薬大薬)

【目的】 Ascospiroketal B は、König らにより海洋性真菌 *Ascochyta salicorniae* から単離された[5.5]-スピロケタールを含む特異な三環性部を有するポリケチドである。¹⁾ 最近、Tong らにより *ent*-Ascospiroketal B の全合成が達成され、その全構造が明らかになった。²⁾ 当研究室でも *ent*-Ascospiroketal B の全合成を報告している。³⁾ 今回、天然物の構造を有する (+)-Ascospiroketal B の全合成を行ったので報告する。



【結果】アリルアルコール **2** から Sharpless 不斉エポキシ化、立体選択的なエポキシドの転位反応などを経てラクトン **3** を得た。ラクトン **3** とスルホン **4** との結合、生じた水酸基の酸化、スルホンの除去を経てケトンとした後、酸触媒による保護基の脱保護及びスピロケタール化を行い、三環性化合物 **5** を得た。さらに、側鎖部の導入を行い(+)-Ascospiroketal B (**1**)の全合成を達成した。現在、各反応の最適化の検討を行っている。



1) Seibert, S. F.; Krick, A.; Eguereva, E.; Kehraus, S.; König, G. M. *Org. Lett.* **2007**, *9*, 239–242.

2) Wang, J.; Tong, R. *Org. Lett.* **2016**, *18*, 1936–1939.

3) 日本薬学会 第136年会(横浜) 29U-pm13S.